

阿部県政 2 年

報 告 書

(2012 年 8 月 24 日～26 日調査)

I	調査の設計	1
II	調査のポイント	3
III	調査の概要	4



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

◆調査の目的

阿部守一知事は9月1日で就任2年、1期の折り返しを迎えた。「県政仕分け人」と自ら宣言して取り組んできた県政は、県民にどう評価されているのか。

県政の柱に据えた「信州からの教育再生」「医（医療・福祉）・職（雇用）・住（生活環境）の安心確保」「信州の特色を活かした産業力、地域力強化」「県民が主役の自立した県政」はどの程度実現し、県民にはどう受け止められているのか。

この2年間、東日本大震災と東電福島第一原発事故、県北部地震、松本市震度5強などの災害に見舞われ、相次ぐ教員・警官の不祥事にも対応が迫られている。厳しい経済情勢、国政の混迷も続いている。

こうした状況のなか、阿部県政2年の実績と評価を探る。

◆調査の設計

▽調査対象	県内に住む20歳以上の男女800人
▽抽出方法	県内を東北中南の4地区に分け、さらに20代～70歳以上の6つの年代層・性に分割し“県下の有権者の縮図”となるように人数を比例配分して、各市・各郡の対象者数を設定。
▽調査方法	個別電話聞き取り・RDD（ランダム・デジット・ダイヤリング）法で実施。コンピューターで無作為に発生させてかける電話調査法で、電話帳に番号を載せていない人も調査できる。無作為に発生させた番号のうち、設定した年代・性の人を選び、目標の800人に達するまで抽出して聞き取りを行った。
▽調査地点	19市9町6村
▽調査時期	2012年8月24日～26日
▽有効回答	807人（男性 389人 女性418人）

<注>

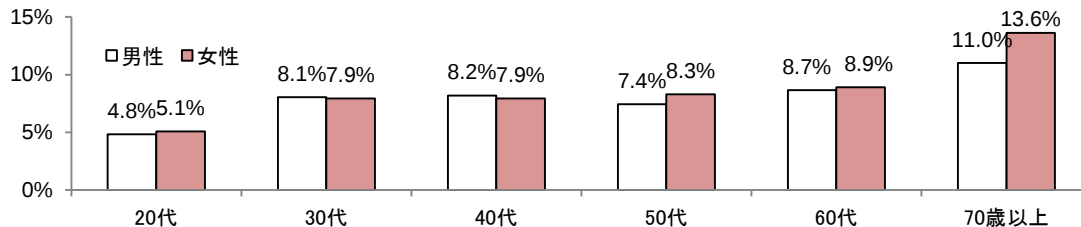
①報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

②文中のパーセント数字は原則として小数点以下を四捨五入した。

◆サンプルの内訳

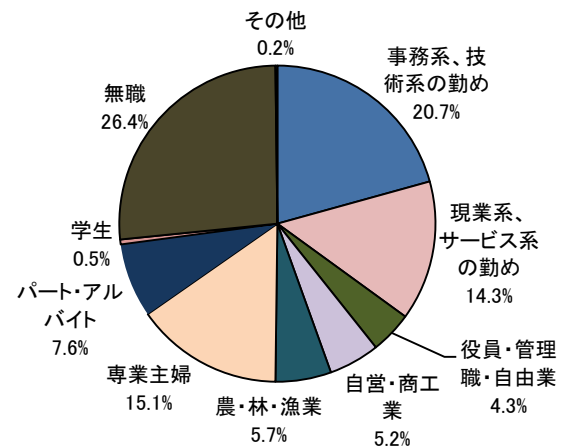
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
全体	807	80	129	130	127	142	199
	100.0%	9.9%	16.0%	16.1%	15.7%	17.6%	24.7%
男性	389	39	65	66	60	70	89
	48.2%	4.8%	8.1%	8.2%	7.4%	8.7%	11.0%
女性	418	41	64	64	67	72	110
	51.8%	5.1%	7.9%	7.9%	8.3%	8.9%	13.6%



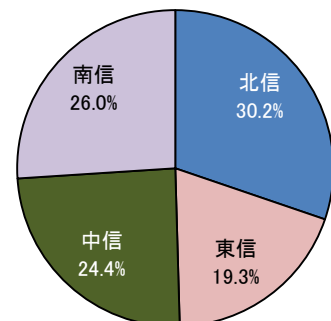
【職業】

事務系、技術系の勤め	167	20.7%
現業系、サービス系の勤め	115	14.3%
役員・管理職・自由業	35	4.3%
自営・商工業	42	5.2%
農・林・漁業	46	5.7%
専業主婦	122	15.1%
パート・アルバイト	61	7.6%
学生	4	0.5%
無職	213	26.4%
その他	2	0.2%



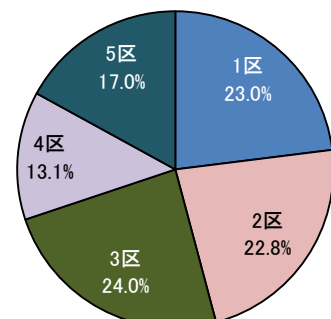
【地域】

北信	244	30.2%
東信	156	19.3%
中信	197	24.4%
南信	210	26.0%



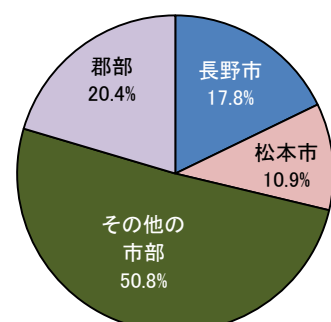
【選挙区】

1区	186	23.0%
2区	184	22.8%
3区	194	24.0%
4区	106	13.1%
5区	137	17.0%



【市郡】

長野市	144	17.8%
松本市	88	10.9%
その他の市部	410	50.8%
郡部	165	20.4%



Ⅱ 調査のポイント

◆阿部知事の支持率 86.5%、高水準続く

阿部守一知事の支持率は「支持する」32.2%、「どちらかといえば支持する」54.3%で合わせて86.5%に上る。前回の4月調査より3.8ポイントアップ、協会の調査では「阿部県政1年」の85.4%を上回り最高を記録した。

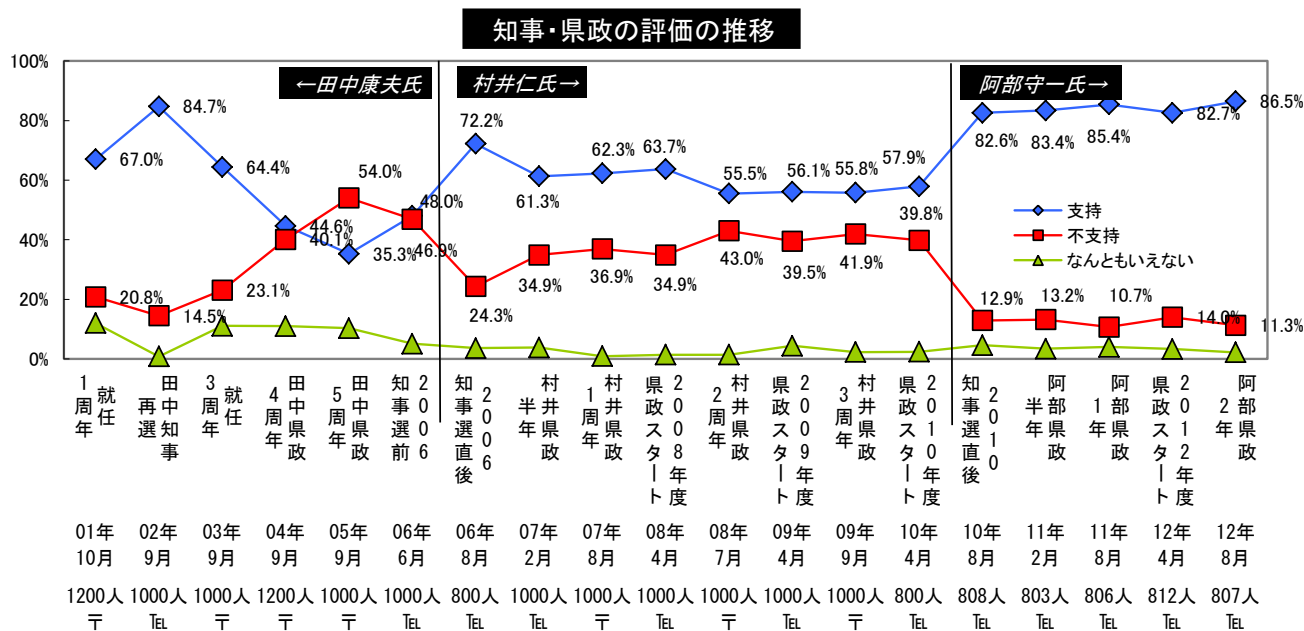
支持は全年代で80%以上、とりわけ70歳以上は92%に達する。職業別でも8割を切るのは自営・商工業のみだ。地域別でも東信、北信、中信、南信の全域で85%を超えた。

「支持しない」は全体で11.3%、1年前の調査と同水準の低さだ。

高い支持率の一方、阿部知事になって「県政が変わった」と思っている人は半数弱、長野県が「活気がある」と感じている人は3人に1人とどまる。県政に力を入れてほしい政策は「産業振興と雇用」が今回もトップで、県内活性化へ県民の要望が強い。

具体的な政策課題では、森林税継続方針やエネルギー戦略を高く評価する半面、今年度見送った「信州型事業仕分け」を実施した方がよいと考えている人が過半数に上る。教員・警官の不祥事再発防止に、第三者機関での検討を望む声も多い。

国政関連では今、衆議院選挙があった場合、比例代表はどの政党に入れるか聞いたところ、自民、民主、共産に次いで大阪維新の会が4番目に入った。県内でも「近いうち」総選挙に、少なからず影響を与えそうだ。



＜注＞田中県政当時は「なんともいえない」を郵送調査(〒)のみ選択肢として明示

	01年 10月	02年 9月	03年 9月	04年 9月	05年 9月	06年 6月	06年 8月	07年 2月	07年 8月	08年 4月	08年 7月	09年 4月	09年 9月	10年 4月	10年 8月	11年 2月	11年 8月	12年 4月	今回
支持する	36.6%	50.5%	29.7%	15.1%	11.6%	14.1%	35.9%	20.6%	19.6%	22.4%	17.8%	15.9%	16.0%	26.1%	40.5%	39.7%	35.5%	27.5%	32.2%
どちらかといえば支持する	30.4%	34.2%	34.7%	29.5%	23.7%	33.9%	36.3%	40.7%	42.7%	41.3%	37.7%	40.2%	39.8%	31.8%	42.1%	43.7%	49.9%	55.2%	54.3%
どちらかといえば支持しない	10.1%	8.0%	11.4%	17.5%	18.0%	25.9%	14.0%	24.6%	24.9%	24.6%	30.7%	28.7%	28.7%	21.3%	8.4%	9.3%	7.9%	10.6%	8.2%
支持しない	10.7%	6.5%	11.7%	22.6%	36.0%	21.0%	10.3%	10.3%	12.0%	10.3%	12.3%	10.8%	13.2%	18.5%	4.5%	3.9%	2.7%	3.4%	3.1%
なんともいえない・わからない	12.0%	0.8%	11.1%	11.0%	10.3%	5.1%	3.6%	3.8%	0.9%	1.4%	1.4%	4.4%	2.3%	2.4%	4.6%	3.4%	4.0%	3.3%	2.2%
不明	0.2%	-	1.3%	4.3%	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Ⅲ 調査の概要

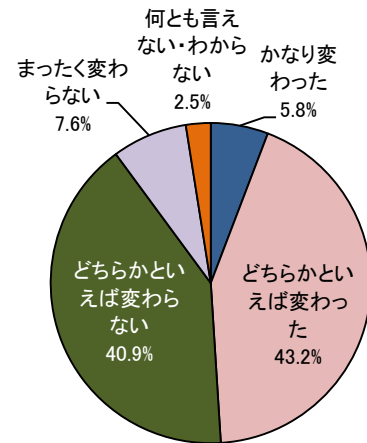
長野県政は変わったか

(問1)

◆「変わった」「変わらない」が拮抗

阿部知事が就任して2年間で長野県政が変わったかどうか、聞いた。「かなり変わった」6%、「どちらかといえば変わった」43%、「どちらかといえば変わらない」41%、「まったく変わらない」8%で、「変わった」「変わらない」が拮抗している。

女性、20～50代までは「変わらない」が全体で過半数。地域別では東信と南信は「変わらない」が過半数、北信と中信は「変わった」が過半数と属性によってもバラつきがある。職業別でも勤め人は「変わらない」、役員・管理職、自営・商工業、農・林・漁業は「変わった」の印象が強い。



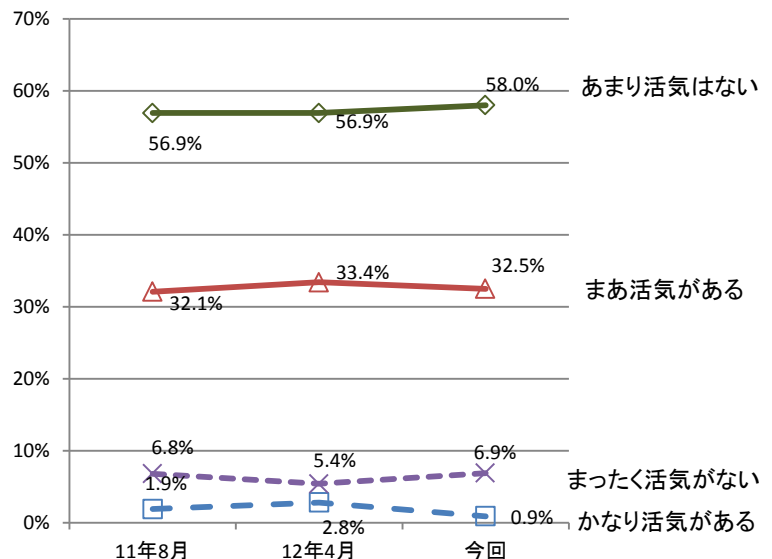
長野県経済や暮らし向きの現状

(問2)

◆「活気がない」やや増えて65%

長野県の経済や県民の暮らし向きの現状について、阿部県政になってから3回尋ねた。「活気がない」が全体で65%、昨年8月の「阿部県政1年」の64%、この4月の「2012 県政スタート」の62%とほとんど変わらない。20代と40～60代でほぼ7割、職業別では自営・商工業者は83%に達する。

問5で聞いた県政に力を入れてほしい政策のトップも3回連続「産業振興と雇用」となっており、好転しない経済情勢を反映している。



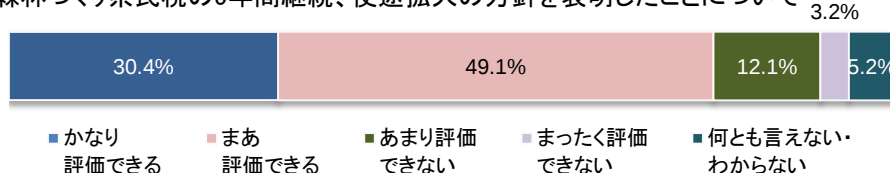
阿部県政の課題、取り組み（問3）

今年度の県政の取り組みや今後の課題について4点を聞いた。

◆森林税の継続方針、8割が評価

知事が森林づくり県民税（森林税）を水源林保全など用途拡大の上、5年間継続の方針を表明したことについて「かなり評価できる」30%、「まあ評価できる」49%とほぼ8割が評価している。これは各属性を通して共通だ。「評価できない」は全体で15%に過ぎない。

A 森林づくり県民税の5年間継続、用途拡大の方針を表明したことについて

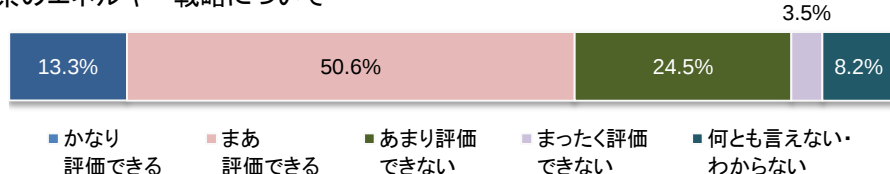


◆エネルギー戦略、64%が評価

今年度を「信州自然エネルギー元年」と位置付け、展開しているエネルギー戦略を「かなり評価できる」13%、「まあ評価できる」51%と全体で64%が評価、「評価できない」は28%だった。

年代、職業、地域など全ての属性で「評価できる」が優位だが、20代と50代は5割に達せず他に比べて低めだ。

B 県のエネルギー戦略について

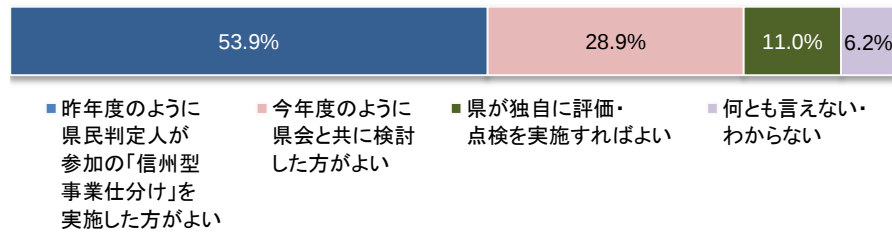


◆「信州型事業仕分けの方がよい」過半数に

阿部知事の公約だった「信州型事業仕分け」を今年度見送り、県会と政策評価・事業点検の仕組みを検討していることについて、「昨年度のように県民判定人が参加の信州型事業仕分けを実施した方がよい」54%、「今年度のように県会とともに検討した方がよい」29%、「県が独自に評価・点検を実施すればよい」11%と、信州型事業仕分けの方がよいと考えている人が半数を超えた。特に30代と40代、職業別で役員・管理職・自由業、自営・商工業、専業主婦、パート・アルバイトをしている人は6割を超す高さだ。

質問の方法は違うが、この4月の調査では「県会と共に検討する」知事の姿勢を62%が評価していた。現在県と県会が検討している新たな政策評価の仕組みが、成果を上げられるかどうか問われそうだ。

C 「信州型事業仕分け」について

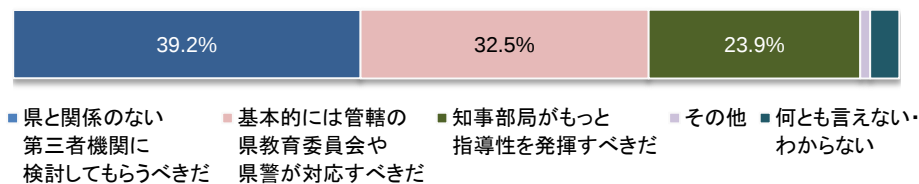


◆教員や警官の不祥事対策「第三者機関で検討を」 4 割

教員や警官の不祥事再発防止のため、どのように取り組んだらよいか聞いた。県民の声は「県と関係のない第三者機関に検討してもらいたい」39%、「基本的には管轄の県教育委員会や県警が対応すべきだ」33%に割れ、「知事部局がもっと指導性を発揮すべきだ」は24%だった。

年代や職業などほぼ各層とも「第三者機関で検討を」が一番の支持を得ており、県と県教委が設置している「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」でも第三者の意見反映が焦点となる。

D 教員や警官の不祥事に、再発防止のため県としてどう取り組むべきか

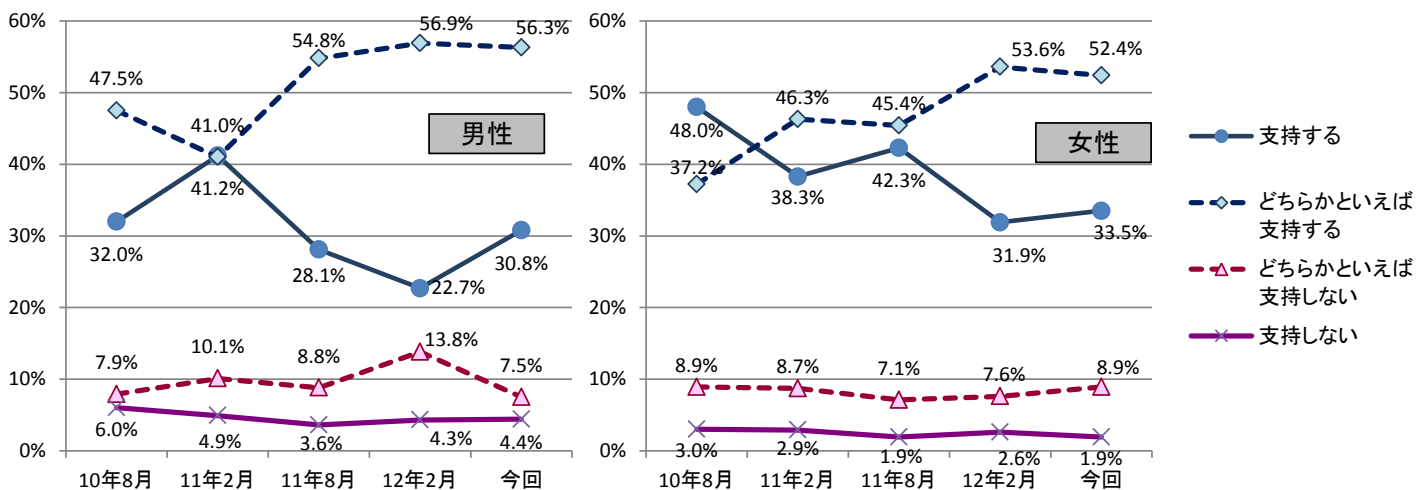


阿部知事の支持率

(問7)

◆各層から8割を超える支持

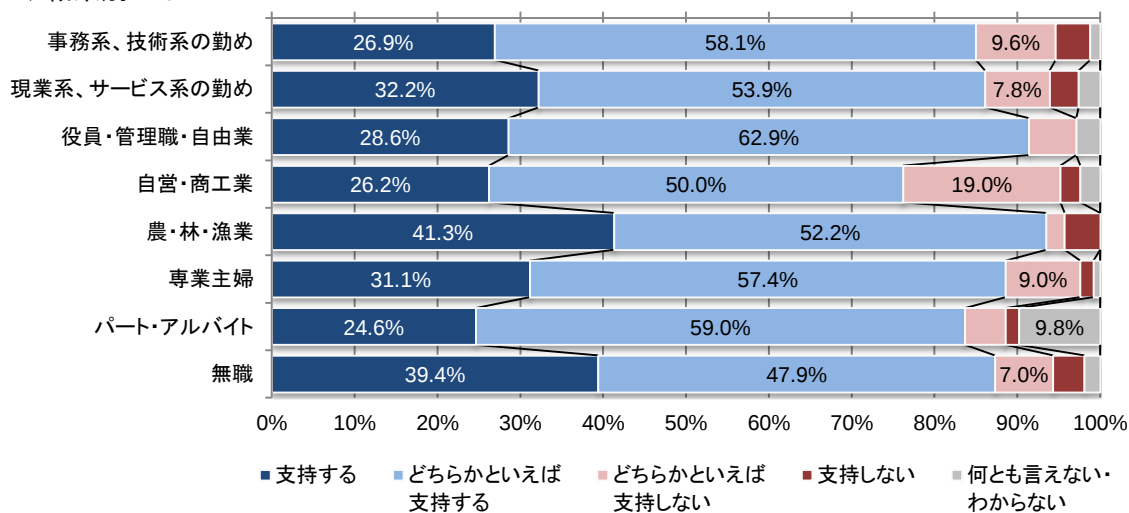
阿部知事の支持率は、調査のポイントで示したように全体で86.5%に上る。その中身を見ると男性87.1%、女性85.9%で、2010年の知事選直後の調査以来初めて男性の支持率が上回った。年代別では高齢層の支持が一際高く70歳以上92%、60代88.7%だ。職業別では農・林・漁業が93.5%、役員・管理職・自由業が91.5%で自営・商工業のみ80%に達しない。



さらに地域別でも県内全域で85%以上、支持政党別に見ても民主92.3%、自民87.9%、公明75%、共産60.7%、支持政党なし層も87.3%と広範な層から高い支持を得ている（ほかの政党はサンプル数が少なかったので参考値）。

調査を重ねるごとに、積極的な「支持する」は減少傾向だったが、今回は回復し3割を超えた。

◆職業別では



今後の任期

(問8)

◆「2期（今後6年間）」を望む人が64%

阿部知事に今後務めてほしい任期を、知事選直後、1年前に引き続き聞いた。「2期（今後6年間）」が64%、以下大きく開いて「今の任期限り（残り2年間）」18%、「3期以上」14%で、2期を望む県民が徐々に増えている。

民主、自民、公明の政党支持者と支持政党なし層は6割以上、共産党支持者も半数が2期を望んでいる。

